

市史編さん室 事務局活動報告

(令和五年一月～二月)

Ⅰ 古文書等調査の概況

一 古文書調査等の概況

市史編さん室では、市内にある古文書等の歴史史料の保存、整理、研究として、また各専門部会活動の資料に供するため、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

令和五年(二〇二三年) 一月から同六年(二〇二四年) 年三月の間に、新たに一〇件の文書群(一、二五二件)を借用して調査を行っている。一方、令和五年(二〇二三年) 一月から同六年(二〇二四年) 三月の間に調査を終えた文書群は五件(四五一点)となった。寄贈文書は二件あり、一二三頁を参照されたい。調査終了文書は以下、

個別に解説を付した。これにより、平成一九年度から二四三家(総点数約九七、〇〇〇点)の調査を終えたことになる。なお、令和六年三月段階で、五八件(約八一、七六〇件)の文書群を調査中である(すでに熊谷市に寄贈されていて調査中の文書群も含む)。全体的に調査終了文書の件数が少ないのは、本石竹井家文書(現時点で一八、九二〇点)、俵瀬萩野家文書(四、二八四点)等大量の点数を有する文書群に着手したため終了に至らなかったことによる。また、目録入力、写真撮影を済ませて解説を作成すれば終了する文書群がいくつもある。近世、近代・現代の資料編の刊行に向けて労力を要するため人手不足も顕著であり、継続的な史料整理は今後の課題であるが、引き続き熊谷にゆかりのある古文書を丹

念に整理していきたい。

(文責 水品 洋介)

二 調査終了文書の紹介

下奈良 集福寺文書 追加分 一五二点

集福寺文書は、これまで平成一九年から二〇年にかけて現地調査を行い、三三四点の史料について目録作成及び撮影を実施した(『熊谷市史研究』創刊号)。今回は、以前の調査で対象にならなかった近代・現代の文書を中心に、一五二点を追加で借用した。

今回の史料の多くは明治・戦前期に作成されており、明治初期に行われた寺領上知からの回復と伽藍の保持に歴代住職と檀家等が尽力した近代の寺の歴史を今に伝える内容であった。

明治初期の寺院は、廃仏毀釈の風潮だけでなく、新政府の政策によって経済的にも大きな痛手を受けたが、集福寺も例外ではなく、寺領の上知及び小作人への頒賦等により収入が激減した上、新たに税(貢租・村費)が賦課されるようになったため、寺の経営は困難を極めた。

そのため、明治六年(一八七三)に住職となった二三世岡田悟秀以降の歴代住職は、寺域の復活による経済の回復と厳しい財政下での伽藍の営繕に努めなければならなかった。

二四世内田大珠は、就任早々と思われる明治九年(一八七六)六月には上川上村の稲村貫一郎から二五円を借用し、さらに同一〇月には、檀家に伽藍と住職の相続のために必要な金銭的援助を請う文書を残している。そこには、「御上知已来段々衰微ニ及び」「困難之際ニ立至り」等と当時の寺の窮状が記されている。このときの収入の実態は、旧幕府時代の約五分の一程であり、伽藍の維持が特に困難となっていた。その対策に始めたのが伽藍維持相続講で、関連史料がまとまっている。一口一〇円の掛金を集めて原資金とし、年二回会合を開き、一〇年で満会とした。満会後は原資金を各地区に預け、利息を伽藍修復費としている。

二五世鈴木無三は、明治一九年(一八八六)から大正五年(一九一六)までの三〇年間、住職を務めた。官林の払下げに尽力し、農商務省に運動を続け、明治三九年(一九〇六)一〇月ようやく字原乾の四町余の特売払下げ

が許可になり、翌四〇年一月に引き渡された。残された文書からは、檀徒惣代等からの借用や寄附金がその資金に充てられたことがわかる。また、明治三四年(一九〇一)には座敷、同四五年(一九一二)には表正門を新築、大正二年(一九一三)には方丈の建て替えを実現し、大正四年(一九一五)八月には大門の敷地を買い取る等、伽藍の整備及び寺域の回復に努めている。なお、明治四三年(一九一〇)の大水害では、本堂・庫裏・玄關・衆寮・禅堂で二尺以上、表門・回廊・長屋その他の建物で三尺以上の浸水があり大きな被害を受けた記録が残っている。

二六世若守義孝の代でも、大正一一年(一九二二)には本堂・祖堂・土蔵の葺きかえ、昭和三年(一九二八)には祖堂(御霊堂)の修築の記録があり、引き続き伽藍の維持に努めている。また、戦前作成と思われる集福寺寺院規則(案)の中では、公益事業として、昭和一〇年(一九三五)七月から農繁期に幼児を預かる定員七〇名の託児所を開設し、地域に貢献していたこともわかる。戦時中の文書には、昭和一七年(一九四二)九月に供出した梵鐘の銘文及びその記録等がある。他に、同一九

年(一九四四)八月、東京都京橋区京橋昭和国民学校の学童集団疎開の児童等を受け入れた際に京橋区長との間で交わした建物賃貸借契約書も残されている。

戦後分には、昭和二六年(一九五一)八月の衆寮修繕(屋根改修)の記録や、同二八年(一九五三)一二月付の梵鐘新鑄・鐘楼改修のための資金寄進の証書や収支報告書がまとまっている。

これらの古文書は、近代における市内の寺院を取り巻く状況やその歴史を知る上で大変貴重である。

平成二八年一二月に借用し、令和五年四月に返却した。

(文責 小林久美子)

柿沼 中澤利行家文書 六八点

柿沼で江戸時代から続く有力な地主であったと思われる中澤家所蔵の近代の史料である。

今回借用した中で一番古いものは、明治一〇年(一八七七)三月の柿沼村全図(地引図)である。一筆ごとに番地が記され、田・畑・宅地・山林等の別に色が塗られている。奥書には、地租改正の取調通りに一間を一分の縮尺で作成し、写しを地主・村吏等八名に所有させたとあ

り、その中に、中澤家の当時の当主である中澤栄次郎の名前もある。寸法は縦二一七cm×横三〇二cm、木箱には「明治十年丁丑年第三月新調 埼玉県播羅郡柿沼村中澤栄次郎所有」と墨書されている。

また、それに関連する史料として、明治二六年（一八九三）八月調査の大幡村大字柿沼の「地券台帳」がある。柿沼全部の地番・等級・地目・地価・地主姓名が記されている。当時の地目の割合は、田が四六％、畑が三六％、宅地が一四％で、残りが林・池・芝等であつた。なお、他には中澤厚氏が熊谷市役所や税務署に勤めた際の辞令や、明治・大正期の金銭借用証書等もまとまつて残されている。

これらは、近代的な土地及び租税制度に移行する中で地域の歴史を知る上で大変貴重である。

令和二年一月に借用し、令和五年四月に返却した。

（文責 小林久美子）

新堀 森田富士男家文書 二〇一点

平成二十七年一月に借用した、享保期から近代にかけ

ての古文書二〇一点である。

全体的に、当家の歴代当主及び当主に準じる者へ差し出された正文が占めており、歴代当主の肩書に名主を冠すものが散見する。また、支配者として文書に現れるのは旗本・大草氏のみである。当家のある新堀村は、江戸時代を通して三〜四給村なので、当家は新堀村における大草氏知行地の名主を務めていた家であると判断される。文書群中の由緒書きによれば、当家は木曾義仲の庶流で、木曾から新堀村に移り住んだという。なお、八〇点余が近代史料で、その多くは剣術関係史料になる。

初出史料は享保十八年（一七三三）の年貢割付状の正文で、宛先は「名主 佐五右衛門」。以降、各種文書の宛先として「久治郎」を経て、当家の歴代当主・名主であることが明らかな「源太夫」「佐次右衛門」の名乗りが順に現れて幕末に至る。年番名主ではなく、世襲で名主を務めた可能性がある。近代に入り、当主「佐治（佐次）」がみえる。

知行主の大草氏はもともと江戸幕府の鷹匠の家で、当地方に鷹場があつたことから、寛文三年（一六六三）まで忍（現・行田市）に居住して鷹匠・鷹場業務にあつた

ていた。こうした関係から、忍城に近い幡羅郡・榛沢郡に知行地を与えられており、居所については、寛文三年に忍から鴻巣へ移り、その後さらに江戸に移っていく。初出文書である享保十八年の年貢割付状は、時期的にすでに江戸に居住していた大草忠直の時代の発給になるから、その時期以降のものとなる本文書群中の大草氏関係の文書は、江戸居住の大草氏との関連史料になる。

大草氏関係文書は、多くの旗本知行所の名主家がそうであったのと同様、森田家も大草氏の家政を財政的に支援し、大草氏は当家に種々の便宜を図っていたことを伝える。たとえば、天明期の大草栄之丞（先の忠直の孫）は、左（佐）次右衛門の度重なる財政支援に対し、一人扶持を生涯にわたり給する旨の書付を出している。

大草氏関係の史料のほかには、田畑の質入・貸借関係や諸掛りの勘定、また菩提寺である国済寺（深谷市）との関係など、当家の村生活に関わる史料がみられるが、そうした中に剣術関係の史料が散見することが注目される。

まず、飯嶋小伝次なる人物に関係する天明・寛政期の史料がある。これらは小伝次が上野国の馬庭念流の門人

で、自らも弟子をとっていたことを伝えるのだが、この人物と森田家との関係は未詳である。続く享和期に当家の幸太郎が馬庭念流に入門していることを示す史料があるので、この幸太郎に関係するものか。この後、明治期には当家の大輔（大助）が「甲源一刀流 新堀研武館」を経営したようで、その印章が残る。近代の多数の手札（名刺）が文書群中にあり、そこには各剣術流派の肩書を名乗るさまざまな士族・一般人らの姓名が見える。これらの人々は、大輔の経営した研武館での修練・交流に関わるものであろう。なお、大輔は当地方の甲源一刀流の著名な師範・剣客として知られる蛭川一の門人であることを示す史料があるほか、この蛭川に関する史料も混入している。剣・書の達人であった山岡鉄舟の門人の書もあり、当家の交流を伝える。

なお、樋口英翁（馬庭念流十四代宗家）が小伝次に出した免許状や、小伝次の二十二二年間にわたる手合わせ相手の記帳卷子があり、特に後者は、民間剣術の地方展開、また当時の剣士の修行実態を知ろううえで大変貴重な史料と思われる。

冒頭で記したように、本文書群は当家歴代当主ら宛て

の正文が多い。そして、内容的には当家の権利（土地・家格など）、また剣術・書といった文化活動に関するものが多く、村政業務のために外部へ出した文書の写し・控えをはじめとした村政一般に関する史料をあまり含まない。つまり、この文書群は、当家の権利や家まつわる歴史を伝承・保持しようとして形成されてきたものといつてよく、名主・村政業務のためのいわゆる公用文書とは区別されて成立・伝来したものであることをうかがわせる。

本文書群は、かつての新堀村における名主家の生活を伝える貴重な史料からなる。新堀村の村政業務のために作成された名主文書（公用文書）の状況についても視野に入れながら研究利用したい。

令和五年六月五日、所蔵者へ返却した。

（文責 久保康顕）

妻沼 田島通明氏収集文書 追加分 二点 一一三頁

下奈良 集福寺文書 追加分 一五二点 一二八頁

柿沼 中澤利行家文書 六八点 一二九頁

新堀 森田富士男家文書 二〇一点 一三〇頁

広瀬 石川毅家文書 二八点 一二五頁

最後に、古文書等の調査に御協力いただいた所蔵者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

II 聞き取り調査

調査の概要

終戦直後の日本は、海外からの引揚者や復員軍人、戦災者など多数の失業者があふれ、併せて厳しい食糧難になった。国は食糧増産と失業者対策のため、緊急開拓事業を開始した。埼玉県では、軍用地跡や未開墾地など五六地区で開拓地として入植者を募り、昭和二一年（一九四六）頃から入植が始まった。

その一つである御稜威ヶ原（熊谷陸軍飛行学校跡）に

昭和二二年に入植し、開墾を行った山本勝康氏からお話を伺った。

主な内容は、山本勝康氏の生い立ち、入植の経緯、開拓地の状況、開墾作業の内容、開拓地での生活や生産活動、開拓団の組織や活動、御稜威ヶ原工業団地の開発と開拓団の対応、開拓団の解散から現在に至るまでの貴重な体験の聞き取り調査となった。

調査日 令和五年（二〇二三）一〇月三十一日

場所 深谷市櫛引 山本牧場（山本勝康氏宅）

協力者 菅谷浩之氏（山本勝康氏の紹介及び聞き取り調査に同席）

※聞き取り調査の詳細については、今後の市史研究において報告を行う予定である。

（文責 山本喜久治）

III 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規定に基づき、保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史的公文

書等として必要な文書を収集保存している。

本年度は、令和五年三月末で保存期限満了となる文書から、保存箱数で一四四箱の行政文書を収集した。行政文書の保存年限としては、五年、一〇年、三〇年（旧永久保存）のものである。

また、こども課等から、保存期限満了後も担当課に保存されていた行政文書六箱を管理移管し、整理を行った。

収集後の整理作業は、令和五年度分が終了し、中性紙保存箱で三五箱となり、保存箱ごとに収納した行政文書リストを作成した。

（文責 山本喜久治）

IV 市史編さん業務日誌

〔令和四年度〕

- 1・14 市政宅配講座(太田公民館)
- 1・21 近世専門部会会議(立正大学品川キャンパス(以下、立正大・品川))
- 1・22 近代・現代専門部会会議(市立商工会館(以下、商工会館))
- 1・23 『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子―その歩みと出会い―』(以下、調査報告書荻野吟子 ※催事の名称を除く)編集会議(オンライン)
- 1・30 新聞記事等調査(市立熊谷図書館(以下、熊谷図書館))
- 1・31 高札・関札調査(熊谷図書館)
- 2・3 調査報告書荻野吟子の編集に係る調査(東京都内各所)
- 2・9 古文書調査(埼玉県立文書館(以下、県立文書館))
- 2・14 地形・地質・気候専門部会会議(江南文化財センター)
- 2・16 新聞記事調査(県立文書館)
- 2・20 仏像・仏画専門部会調査(極春真光寺、小江川満讀寺)
- 2・27 青山根岸友憲家文書調査報告
- 2・28 近世専門部会卷担当者会議(立正大・品川)
- 3・6 『熊谷市史 調査報告書 直実・実盛伝説』編集会議(オンライン)
- 3・7 埼玉県行政文書調査(県立文書館)
- 3・13 宮町中沢家資料調査(市立妻沼展示館(以下、妻沼展示館))
- 3・14 大麻生伊佐山家文書返却
- 3・16 下川上淨泉寺文書等返却
- 3・17 仏像・仏画専門部会調査(中奈良後原公会堂、小江川満讀寺)
- 3・20 新聞記事等調査(熊谷図書館)
- 3・22 日向船田家資料返却
- 3・24 近世専門部会会議(立正大・品川)
- 3・28 東別府権田不二天家文書調査
- 3・29 第二回熊谷市史編さん委員会(商工会館)
- 3・29 熊谷市史編集会議(商工会館)
- 〔令和五年度〕
- 4・3 新聞・刊行物調査(熊谷図書館)
- 4・11 近世専門部会打合せ(立正大・品川)
- 4・13 市政宅配講座(松坂屋建材(株))
- 4・21 『熊谷市史 調査報告書 仏像・仏画2』(以下、「調査報告書 仏像・仏画2」)編集会議(妻沼展示館)
- 4・24 記者会見(『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子―その歩みと出会い―』刊行)(熊谷市役所本庁舎(以下、本庁舎))
- 4・25 柿沼中沢家、下奈良集福寺文書返却
- 4・25 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会(以下、埼玉協)第一回理事会(県立文書館)
- 5・9 古文書調査(県立文書館)
- 5・11 市政宅配講座(松坂屋建材(株))
- 5・15 新聞記事調査(熊谷図書館)
- 5・16 仏像・仏画専門部会調査(新堀玉性寺、千代普門寺)
- 5・17 さいたま市アーカイブズセンター職員視察対応
- 5・18 新聞・雑誌調査(国立国会図書館)
- 5・22 古文書調査(国文学研究資料館)
- 5・23 調査報告書荻野吟子に関する会議(オンライン)
- 5・25 宮町中沢家資料調査(妻沼展示館)
- 5・26 埼玉協 令和五年度総会、「国際アーカイブズの日」記念公開講演会(鉄道博物館(さいたま市))
- 5・29 めぬまガイドボランティア阿うんの会設立五周年記念講演会(講師)(妻沼中央公民館)
- 5・31 地形・地質・気候専門部会会議(立正大学熊谷キャンパス(以下、立正大・熊谷))
- 6・5 歴史公文書等選別・収集(本庁舎ほか)(6日・12日・13日・21日)

- | | | | | | |
|------|--|------|---|-------|--|
| 6・5 | 新堀 森田富士男家文書返却 | 8・7 | 立正大学古文書研究会との共同事業
〔妻沼展示館・立正大・熊谷〕（～10日） | 9・11 | 『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子
―その歩みと出会い―』刊行記念シ
ンポジウムに関する会議（オンライ
ン） |
| 6・6 | 新聞記事・熊谷町役場文書調査（熊
谷図書館） | 8・7 | 〔絵葉書〕に関するワークショップ②
（緑化センター） | | |
| 6・7 | 手島金井家文書調査・借用 | | | | |
| 6・9 | 常見隆氏所蔵資料調査報告（群馬県
太田市・群馬常盤学園） | 8・19 | 近代・現代専門部会会議（商工会館） | 9・11 | 資料調査（熊谷図書館） |
| 6・15 | 直美市民大學生見学対応 | 8・20 | 上奈良上柴地蔵尊祭祀行事調査 | 9・12 | 仏像・仏画専門部会調査（塩常安寺） |
| 6・18 | 市政宅配講座（秦公民館） | 8・23 | 本石志村家文書借用（追加分） | 9・15 | 『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子
―その歩みと出会い―』刊行記念シ
ンポジウムに関する地域代表者との
打合せ（妻沼中央公民館） |
| 6・19 | 仏像・仏画専門部会調査（籠原南大
正寺） | 8・24 | 秩父鉄道株式会社文書調査（県立文
書館）（～25日） | 9・23 | 『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子―
その歩みと出会い―』刊行記念シ
ンポジウム（妻沼中央公民館） |
| 6・19 | 新聞記事調査（熊谷図書館） | 8・28 | 立正大学古文書研究会との共同事業
（妻沼展示館・立正大・熊谷）（～9
月1日） | | |
| 6・26 | 新聞記事調査（熊谷図書館） | 8・29 | 熊谷市郷土文化会研修会（緑化セン
ター） | 9・24 | 調査報告書荻野吟子担当編集委員
関係施設等視察同行 |
| 6・27 | 古文書調査（県立文書館） | 8・29 | 小島公民館はぐくみ学級 歴史講座
〔講師〕（小島公民館） | 9・27 | 市政宅配講座（江南公民館） |
| 6・27 | 第一回埼玉協設立五〇周年記念事業
実行委員会（県立文書館） | 8・30 | 資料調査（国立国会図書館） | 9・27 | 第二回埼玉協設立五〇周年記念事業
実行委員会（行田市郷土博物館） |
| 7・4 | 新聞記事調査（国立国会図書館） | 8・31 | 記者会見（『熊谷市史 調査報告書
荻野吟子―その歩みと出会い―』刊
行記念シンポジウムについて）（本庁
舎） | 9・28 | 大合唱「めぬま愛」連絡会ワーク
ショップ（くまがや市商工会本所） |
| 7・10 | 〔絵葉書〕に関するワークショップ
①（熊谷雑学研究会主催）（緑化セン
ター） | 9・4 | 資料調査（熊谷図書館） | 9・28 | 上須戸新井家文書借用
（緑化センター） |
| 7・10 | 古文書調査（国文学研究資料館） | 9・5 | 資料調査（熊谷図書館）（～7日） | 10・2 | 〔絵葉書〕に関するワークショップ④
（緑化センター） |
| 7・11 | 古文書調査（行田市郷土博物館） | 9・8 | 男沼公民館さらさら学級 歴史講座
〔講師〕（男沼公民館） | 10・4 | 秦小学校 総合的な学習の時間（「アド
バイザー」）（市立秦小学校） |
| 7・11 | 資料調査（熊谷地区労働組合協議会） | 9・8 | 資料調査（県立文書館）（～7日） | | |
| 7・25 | 近世専門部会会議（立正大・品川） | 9・11 | 〔絵葉書〕に関するワークショップ③
（緑化センター） | 10・11 | 関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式関係
資料調査（鴻巣市個人宅） |
| 7・29 | 近代・現代専門部会・『熊谷市史資
料編7 近代・現代2 熊谷地域編・
下』（以下、『資料編7』）担当者会議
（熊谷図書館） | | | | |

- 10・11 深谷市坂本家文書調査（深谷市立図書館）
- 10・21 秋休みわくわく探検隊（アドバイザ―）（葛和田大龍寺、市立荻野吟子記念館、群馬県千代田町光恩寺）
- 10・26 資料調査（埼玉県立熊谷図書館）
- 10・30 仏像・仏画専門部会調査、翠雲堂作成安楽寺九品仏堂資料見学（籠原南大正寺、妻沼展示館）
- 10・31 御稜威ヶ原開拓閉関係資料調査（深谷市個人宅）
- 11・3 映像公開ライブラリー出張上映会（講師）（第二部・講演会）（市立文化センター文化会館）
- 11・5 市政宅配講座（秦公民館）
- 11・8 市政宅配講座（江南公民館）
- 11・9 埼玉協第二回理事会、主管課長等研修会（早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター、本庄早稲田の杜ミュージアム）
- 11・13 「絵葉書」に関するワークショップ⑤（緑化センター）
- 11・19 『資料編7』担当者会議（熊谷図書館）
- 11・20 仏像・仏画専門部会調査（野原文珠寺、板井宝光寺）
- 11・21 朝鮮総聯合会支部資料調査（在日本朝鮮人総聯合会埼玉県北部支部）
- 11・21 地形・地質・気候専門部会会議（立正大・熊谷）
- 11・22 講座「熊谷の近現代史を学ぼう」①（講師）（中央公民館）
- 11・23 第一回熊谷市史編さん委員会（商工会館）
- 11・24 『熊谷市史資料編3 近世1（熊谷地域編上）』巻担当者会議（立正大・品川）
- 11・25 埼玉地方史第一回定例会（講師）（行田市郷土博物館）
- 11・29 講座「熊谷の近現代史を学ぼう」②（講師）（中央公民館）
- 12・1 別府中学校ふれあい講演会（講師）（市立別府中学校）
- 12・4 第三回『調査報告書 仏像・仏画2』編集会議（妻沼中央公民館）
- 12・6 市政宅配講座（江南公民館）
- 12・7 広瀬石川家文書借用
- 12・11 仏像・仏画専門部会調査（成沢静簡院）
- 12・13 資料調査（秩父鉄道労働組合本部）

※本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。

V 市政宅配講座等への派遣

令和五年

一月一日 太田公民館 担当 小林

市政宅配講座「熊谷市の学校給食の歴史」

四月一三日 松坂屋建材株式会社 担当 蛭間、小林

市政宅配講座「戦国時代までの熊谷の歴史」、「熊谷宿の歴史と産業」

五月一日 松坂屋建材株式会社 担当 小林

市政宅配講座「明治・大正・昭和の熊谷」

五月二九日 妻沼中央公民館 担当 蛭間

NPO法人めぬまガイドボランティア阿うんの会設立五周年記念講演会「荻野吟子―その歩みと出会い―」

六月一八日 秦公民館 担当 小林

市政宅配講座「偕成社創業者今村源三郎とその周辺」

八月二九日 小島公民館 担当 久保

小島公民館はぐくみ学級 歴史講座「江戸時代の醫王寺・鎮守春日社」

九月八日 男沼公民館 担当 小林

男沼公民館 歴史講座「近代の男沼村」

九月二七日 江南公民館 担当 蛭間

市政宅配講座「斎藤別当実盛の生涯」

一〇月四日 秦小学校 担当 蛭間、小林

総合的な学習の時間 アドバイザー

十一月三日 市立文化センター文化会館 担当 蛭間

映像公開ライブラリー出張上映会「荻野吟子、再発見」

(第二部・講演会)

十一月五日 秦公民館 担当 水品

市政宅配講座「古文書から読み解く俵瀬の歴史―俵瀬荻野晃三郎家文書調査中間報告―」

十一月八日 江南公民館 担当 久保

市政宅配講座「群雄割拠！熊谷武士の世界―熊谷地域の山伏と戦国時代の領主―」

十一月二二日 中央公民館 担当 小林

講座 熊谷の近現代史を学ぼう①「近代の熊谷と歴代町長について」

十一月二五日 行田市郷土博物館 担当 蛭間

令和五年度埼玉地方史第一回定例会「荻野吟子、再発見」

十一月二九日 中央公民館 担当 水品

講座 熊谷の近現代史を学ぼう②「熊谷自由民権運動
「七名社」の活動」

一二月六日 江南公民館 担当 小林

市政宅配講座「明治・大正・昭和の熊谷の歴史」